
FNIRSI

LCR-ST1

ピンセット型LCRメーター 日本語取扱説明書（参考訳）



ご使用前に安全上の注意を必ずお読みください。

翻訳・編集：泰宕商事株式会社

参考訳 v1 / 2026-10-12

参照原本：LCR-ST1 Intelligent bridge tweezers user Manual V1.6、英語本文14～28ページ。自動モード・精度の字数などは中国語本文で照合。

本書について

本書はメーカー原本をもとに、操作・仕様・安全上の注意を日本語で翻訳・整理した参考訳です。メーカー公式の日本語版ではありません。画面の文言、仕様、付属品が異なる場合は、実機の型番・ハードウェア版と対応するメーカー原本を確認してください。

メーカー原本の操作・仕様・安全注意を日本語で再構成した参考訳です。

構成

1. 安全・測定前の注意
2. 概要・各部・キー
3. プローブ取付け・起動・測定設定
4. 短絡ゼロ調整・HOLD・導通
5. システム設定・更新
6. 基本仕様・静電容量
7. インダクタンス・抵抗仕様

1. 安全・測定前の注意

- ・使用前に本書と原本を読み、指定手順で使用してください。可燃性・爆発性のある場所では使用しないでください。
- ・通電した回路・部品を測定しないでください。コンデンサーは測定前に放電してください。機器を損傷するおそれがあります。
- ・先端と部品の接触を確実にします。接触不良は誤差の原因になります。
- ・基板に実装されたままの測定は推奨されません。周辺回路の影響を受け、値は参考にとどまり、精度は保証されません。
- ・自動モードはダイオードに対応しません。自動判別の部品種別は参考であり、特殊条件では誤判別する場合があります。
- ・廃電池・廃機器は家庭ごみに混ぜず、地域の規則に従って処分します。

2. 概要・各部・キー

LCR-ST1は抵抗、静電容量、インダクタンス、ダイオードを測るピンセット型のLCRメーターです。1.14インチカラー画面、磁気吸着機能、250mAh充電式電池を備え、100Hz／1kHz／10kHzで測定します。

各部・操作	機能
測定プローブ・測定アーム	被測定部品を挟む。先端は交換手順あり、アームは分解不可。
充電表示・Type-C	充電／データ転送。5V／1A。
電源キー短押し	電源オフ時：起動。主画面：短絡ゼロ調整。
電源キー長押し	終了。
HOLD／設定キー短押し	主画面の測定値保持。
HOLD／設定キー長押し	設定へ入る／設定を終了。
ダイヤル中央短押し	主画面の測定信号レベル／周波数を選択。設定では選択確定／終了。
ダイヤル中央長押し	副パラメーターD／Q／Z／X切替。
ダイヤル左／右	主画面の項目・値を変更。設定メニューを選択。

画面は測定モード、測定電圧／周波数、電池残量、主測定値、HOLD、単位、副測定値を表示します。副パラメーターはD（損失係数）、Q（品質係数）、Z（インピーダンス）、X（リアクタンス）です。各副値の精度・範囲は原本に明記されていません。

3. プローブ取付け・起動・測定設定

プローブの位置決め穴を測定アームへ合わせて取り付けます。ギザギザのある面をピンセットの内側に向け、ねじを回して締めます。取り外しは逆順ですが、測定アームは取り外さないでください。

電源キー短押しで起動、長押しで終了します。起動時はダイヤルを左右に動かして言語を選び、ダイヤル中央を短押しして確定します。

主画面でダイヤルを左右に動かし、自動／抵抗／静電容量／インダクタンス／ダイオードを選択します。英語操作文では自動が不明瞭ですが、中国語本文は自動モードを明示しています。

ダイヤル中央短押しで測定電圧の領域を選び、左右で0.3V／0.6Vを選択します。再度中央で周波数の領域を選び、左右で100Hz／1kHz／10kHzを選択します。

周波数によって測定値は変わります

LCR測定では交流信号を部品へ加え、インピーダンスを測ります。実際の部品、接続、測定端子の寄生成分により、同一部品でも周波数が異なると値が変わる場合があります。用途に合う周波数を選択します。

4. 短絡ゼロ調整・HOLD・導通

短絡ゼロ調整：まず調整する周波数を選択します。短絡片を測定端子へ挟んで短絡し、電源キーを短押ししてゼロ調整へ入ります。本機が測定・判別し、その条件の短絡ゼロ調整を実行します。原本は測定ソケット、SMDピンセット／クリップに共通した表現ですが、本機の端子に合わせて短絡します。

HOLD／設定キー短押しで測定値を保持し、保持アイコンを表示します。保持時にExcel形式の表へ自動保存すると原本に記載されています。データ対応Type-Cケーブルで接続すると、仮想USBドライブから保存データを読み出せます。ファイル拡張子・件数上限は原本に明記されていません。

ダイオードモードでは、測定抵抗が50Ω未満のとき導通動作を行います。ダイオードの仕様欄は順方向電圧降下0.7V未満です。自動モードでのダイオード測定はできません。

5. システム設定・更新

HOLD／設定キーを長押しして設定へ入ります。ダイヤル左右でメニュー項目を選び、中央短押しで下位メニューへ入る／選択を終了します。HOLD／設定長押しで設定を終了します。

項目	設定
言語	中国語／English
音量	0～5段階
バックライト	0～100、連続調整
無操作自動終了	オフ／5／15／30分
初期化	すべての設定パラメーターを消去
About	モデル・バージョンを表示

更新：電源オフの状態でダイヤル中央と電源キーを長押しし、更新画面へ入ります。データ対応ケーブルでPCへ接続し、表示されるフォルダーへ対応するメーカー公式ファームウェアをコピーします。完了後に本機が自動再起動します。

更新時の補足
中国語原本はダイヤル、電源キーの順に長押しと記載しています。更新画面が出たことを確認してください。更新中はケーブルや給電を切らず、型番に合う公式ファイルを使用してください。復旧操作・対応OSの詳細は原本に明記されていません。

6. 基本仕様・静電容量

項目	原本の値
画面	1.14インチ
電池	250mAh充電式リチウム電池
充電	USB Type-C、5V／1A
寸法	28×19×150mm
重量	41g

以下の精度は原本の表記を「指示値のx% ±3カウント」として示します。英語は%reading±3、中国語は%±3字です。符号の書式が通常の±(x%+3カウント)と異なるため、厳密な誤差式・試験条件はメーカーへ確認してください。「—」は原本で精度記載なしです。

静電容量範囲	100Hz	1kHz	10kHz
1～22mF	5% ±3	5% ±3	—
1 μ F～1mF	2% ±3	2% ±3	2% ±3
1nF～1 μ F	2% ±3	0.5% ±3	0.5% ±3
1pF～1nF	—	2% ±3	2% ±3

ダイオード：順方向電圧降下0.7V未満（原本仕様）。測定電流や範囲外判定の詳細は明記されていません。動作温湿度、電池持続時間、分解能の一覧も原本に明記されていません。

7. インダクタンス・抵抗仕様

精度表の記号・カウントの扱いは前章と同じです。範囲境界の重複は原本どおりです。

インダクタンス範囲	100Hz	1kHz	10kHz
1～10H	5% ±3	5% ±3	—
1mH～1H	2% ±3	2% ±3	2% ±3
10 μH～1mH	2% ±3	0.5% ±3	0.5% ±3
1～10 μH	—	—	2% ±3
抵抗範囲	100Hz	1kHz	10kHz
1～10MΩ	5% ±3	5% ±3	—
1kΩ～1MΩ	1% ±3	0.5% ±3	1% ±3
1Ω～1kΩ	1% ±3	0.5% ±3	0.5% ±3
10mΩ～1Ω	2% ±3	2% ±3	2% ±3

メーカー：Shenzhen FNIRSI Technology Co., Ltd.。原本連絡先：0755-28020752、www.fnirsi.cn、business@fnirsi.com、英語サービス窓口service@fnirsi.com／中国語support@fnirsi.com。原本住所：深圳市龍華区大浪街道・偉華達工業園C棟西側。中国語原本のSJ/T 10298-1991表記を日本の認証へ拡張しません。

英語原本には問い合わせによる追加6か月保証・コミュニティ参加の案内がありますが、現在の対象地域・条件は確認していません。本参考訳によって泰宕商事の保証期間や特典を約束するものではありません。

参照資料とお問い合わせ

参照原本：LCR-ST1 Intelligent bridge tweezers user Manual V1.6、英語本文14～28ページ。自動モード・精度の字数などは中国語本文で照合。

原本の製造元：Shenzhen FNIRSI Technology Co., Ltd.

メーカー資料：<https://taigo-shoji.co.jp/manuals/fnirsi/lcr-st1-multi-c2949c9b56d3.pdf>

製品・相談窓口：taigo-shoji.co.jp

お問い合わせ：support@taigo-shoji.co.jp

保証・初期不良対応は購入先の案内をご確認ください。原本にあるメーカー独自の保証延長、販売条件、広告表現は、泰宕商事の保証条件として転記していません。

原本との対応

原本の章・ページ	本書での扱い
英語14～17ページ	安全、概要、全キー・各部。
18～20ページ	基本仕様、静電容量・インダクタンス・抵抗・ダイオードの全表。
21～25ページ	画面、取付け、モード、電圧・周波数、ゼロ調整、保存、導通、全設定。
26～28ページ	更新、測定注意全項目、メーカー情報・特典の扱い。
中国語4～13ページ	自動モード・精度カウント・更新順序を照合。